

社会人として歩み始めた 20歳の今とこれから



中村 栞名さん

鬼志別在住。
稚内信金鬼志別支店に勤めている。



川谷 悠真さん

浜猿払在住。
漁師として活躍中。

1月3日に行われた「二十歳を祝う会」にて、誓いの言葉とお礼の言葉を述べた2名にインタビューをしました。(敬称略)

——20歳を迎えた今の気持ち

川谷：これからは大人としての自覚をもって行動し、自分でお金を稼ぎ、自分のことは自分で責任をもってやっていきたいです。

中村：正直、20歳になったという実感はあまりありませんでした。久しぶりにみんなに会って話をする中で、社会人として自覚を持って行動していかなければならないという実感が改めて湧いてきました。

——これまでと変わったこと

川谷：20歳という節目での大きな変化はまだ感じてはいませんが、高校卒業後、漁師として働き始めて、自分で収入を得るようになって、自分が学生の時との違いだと感じています。

中村：成人年齢自体は18歳ではありますが、20歳からはできるこ

と、やらなければならないことが増え、行動が全て自分の責任になるため、自立した大人にならないければならないと思いました。

——友人との久しぶりの再開

川谷：変わったと感じる友人もいましたが、昔のまま変わらない友人もいてとても懐かしかったです。

中村：学生や社会人だったり、みんなそれぞれの生活を楽しんでいるんだなと思いました。みんなの色々な話を聞いて自分も頑張ろうと思いました。

——これからの目標

川谷：祖父のように周りから慕われ、自然と人が集まり、人脈のある漁師になりたいです。そのためにも、仕事に向き合い頑張りたいです。

中村：今まで支えてくれた周りの人たちへの感謝を忘れずに、猿払村で働きながら少しでも恩返しできる存在になれたらと思います。

時事雑感

今年に入り早くも1月が経過しましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。担当者は年末年始の長期休暇の感覚がやっと抜けてきたところです。

さて、1月12日は成人の日。猿払では1月3日に二十歳を祝う会が開催されました。今年には24名が出席し、旧友と再開し新たな門出を祝いました。今月号には、出席者を代表して誓いの言葉とお礼

の言葉を述べた2名の方々のインタビューを掲載しておりますが、二十歳となった自覚を感じさせる素晴らしい内容となっております。

昔、成人の日は1月15日でしたが、ハッピーマンデー構想により第2月曜日に変更となり、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられるなど、年代によって「成人」の感覚は異なりますが、人生の一つの節目であることは今も昔も変わらないようです。